令和8年度　授業改善推進プラン　〈4年〉

小平市立小平第十五小学校

	伸ばしたい力	具体的な改善策	改善プランの評価方法
国語	事柄の順序を意識しながら、大事なことを落とさないように、興味をもって話を聞く。さらに自分の考えを伝える。	聞く姿勢、話の聞き取り方などを様々な場面で指導する。朝のスピーチを継続的に行う。事柄の中心を意識しながら話し、聞き取れるようにする。	スピーチや発言などで順序立てた話し方を確認したり、ワークテストで評価したりする。
	既習漢字を使い、段落を意識して自分の考えを文章表現する。	作文に書く内容を例示することで、順序正しく記述する書き方に慣れさせる。新出漢字を使った様々な熟語を指導し、語彙を増やす。定期的な漢字テストを行い知識の定着を図る。	ミニ作文等で評価する。 漢字ノートやミニテストなどで評価する。
	事実と意見の関係を捉えて段落相互の関係を考える。	「事実」と「意見」との関係を明らかにするために、文の構成や接続語、文末表現に注意して読ませる。必要な箇所に印を付けさせることを通し、文章の内容を視覚的に捉えさせる。	学習プリント、ノート、ワークテストで評価する。
社会	社会事象を身近な問題として捉え、関心をもって調べる。	実際に目で見たり体験したりする機会を多く取り入れる。資料の見方やメモの取り方を国語科と関連させながら指導し、慣れさせる。	体験や見学の内容をメモしたものを評価する。（ノート）
	調べたことを分かりやすくまとめる。	情報を選択し、必要なことを伝えられるように、具体的なまとめ方（レイアウトや見出しなど）を国語科と関連させながら指導する。	ワークシートや調べたことを新聞にまとめたものを評価する。
算数	四則計算を確実に解くこと、概数で表すこと、面積を求めること、分度器を使った作図、グラフの読み取りや活用ができる。	宿題や朝学習などに学習者用端末等を活用し、継続して練習に取り組むことで学力の定着を図る。特に小数×整数の計算は確実にできるようにする。	プリントやドリル、ノート、ワークテスト、東京ベーシックドリル診断テストなどで評価する。
	自分の考え方で課題を解決する。友達の考えと比べながら、問題に対する自分の考えをまとめたり表現したりする力を高める。	単元の導入部では、具体的な作業を多く取り入れ、意欲をもたせる。既習事項を活用し、自分なりの方法で解決するよう個別に指導する。ノートに課題解決に向けての自分の考えを書き、発表する。友達と考えを交流し、様々な解決方法があることに気づかせる。習熟度別の学習形態を取り入れ、問題提示の仕方や解決方法などを工夫する。	授業中の活動の様子や発言内容、ノートの記述やワークテストで評価する。
理科	身近な自然や動植物に興味をもち、自然を大切にしようとする。	季節ごとの生物の移り変わり（気温の違い、植物や動物の様子など）に目を向け、共通性や多様性を意識した観察活動を行う。観察対象をスライドにまとめ、前の季節の様子と比較をする。	観察の様子、観察スライド、児童の発言で変容を見る。
	工夫して実験や観察を行い、結果や考えたことを自分の言葉でまとめる。	観察や実験のポイントをわかりやすく示してから活動に入る。観察スライドやノートのまとめ方を丁寧に指導する。考察では、話型を示しながら科学的に説明する力を身につけさせる。	授業中の活動の様子や観察カード・ノートで評価する。
音楽	リコーダーの基礎的な技能を習得し、自信をもって表現できる。	リコーダーの基礎的な奏法を視覚教材で示し、個人練習、ペア練習の練習時間を設けて、繰り返し練習することを通して確実に習得できるようにする。	児童の演奏の様子を観察し、ねらいに達しているかどうかを評価する。
	歌唱表現するための基礎的な力を身に付ける。	楽譜に記された記号に注目させ、身体を使って表す活動や友達と関わり合う活動を通して、曲の特徴を感じ取って言葉で表現する活動を取り入れる。	発言内容や活動の様子を観察し、ねらいに達しているかどうかを評価する。
図工	材料や用具の特性を生かし、自分の表したいものを表す。	さまざまな材料と加工するための用具を適切に正しく扱うことで、自分の表したいものをどのようにしたら形にしていくことができるか考えられるようにする。	児童の活動の様子、作品の製作過程、完成作品を評価する。
	色や形、その組み合わせの感じを捉え、自分の表したいものを見付け、自分なりのイメージを広げていく。	様々な色や形、組み合わせが考えられるような題材を設定し、活動の中でいろいろ試しながら、自分のイメージを広げられるようにする。	児童の活動の様子、作品の製作過程、完成作品、作品の解説を評価する。
体育	基本の運動の動きを身に付け楽しく運動することができる。	運動の特性を考えて運動量を確保する。学習カードや掲示物で動きのコツや練習の仕方を示し、前時の振り返りに応じためあてを考えさせる。	授業中の様子、学習カードの内容で評価する。
	ルールを守り、協力してゲームに取り組む。	チームで話し合う時間を設定し、練習の仕方を工夫する。チーム練習の時間をとり、教え合う場面を作る。	授業中の様子、学習カードの内容で評価する。
道徳	相手の立場に立って考え、自分自身の言動をふり返ることができる。	教科書の資料や教材を効果的に提示し、それぞれの考えを認め合えるようにする。	発言やワークシートで評価する。日常の児童の行動を観察する。
	自主・自律の心を養い、道徳的実践力を身に付ける。	児童の実態に合わせ、自己の行動を振り返ることのできる機会を設定する。	ワークシート、発言、作文などを評価に生かす。
特活	係や当番活動を友達と協力して工夫しながら行う。	集団の中で児童一人一人が役割を自覚した行動をさせる。協力して工夫する場を設け、協力の大切さを意識した行動をさせる。	係活動の計画や活動の様子,学級会の様子を評価する。
	目的や役割を考えて学校行事やたてわり班活動、クラブ活動を行う。	学校行事などにめあてをもって参加できるように事前の指導を十分行う。話合い活動を充実させる。話し合い～実践～振り返りの活動を繰り返し、積み重ねていく。	活動の中で児童の様子や変容を見取っていく。
	話し合い活動の形式を学び、高まりのある学級会の運営を行う。	二人組、少人数、学級全体での話し合い等、様々な規模の話し合いを経験させ、考えを伝え会う場を継続的に設定する。	ワークシート、話し合いの見取り。
総合	自分の課題を設定し、追究する。	イメージマップを作らせ、児童同士で共有することで、共通のテーマから各自の課題を見付けやすくする。	活動の見取り、ワークシート
	追究したことをまとめ、表現する。	スライド、ロイロノート等で、教師が表現方法を例示することで、児童が自分の課題に適したまとめ方をイメージしやすくする。	作品や作品内の記述